

音楽科学習指導案

呉市立和庄小学校
教諭 藤井 眞實

- 1 日 時 平成27年6月27日（木）～平成27年7月13日（火）
- 2 学 年 第5学年
- 3 題 材 楽曲の特徴を感じ取ってよさや美しさを味わって聴こう
「カノン 二長調」, 「ファランドール」(「アルルの女」第2組曲から)

4 題材について

○ 題材観

本題材は、小学校学習指導要領音楽（平成20年）の第5学年及び第6学年「B鑑賞」（1）ア「曲想とその変化などの特徴を感じ取って聴くこと。」, イ「音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取り、楽曲の構造を理解して聴くこと。」, ウ「楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを理解すること。」を受けて設定した。鑑賞活動において音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取り、感受したことを言葉などで表すことを通して、音楽を味わって聴くことをねらいとする。〔共通事項〕については、「旋律」「音の重なり」「反復」「変化」を扱うものとする。これらを感じ取りやすい楽曲として、本題材では二つの曲を取り上げる。

「カノン 二長調」は、ドイツの作曲家ヨハン・パッヘルベルの作品で、先行するなめらかな旋律を、一定の間において正確に模倣する手法により構成されている。低音の旋律の反復により、より落ち着いた楽曲の雰囲気となっている。また、旋律の変化により、演奏のよさを感じることができ、多くの児童が魅力を感じながら演奏を楽しむことができると思われる。同じ旋律を演奏するので、自分以外のパートの演奏を意識しやすく、全体の音も聴きやすくなるを考える。

「ファランドール」は、フランスの作曲家ジョルジュ・ビゼーの作品である。堂々として迫力のある「王の行進」の旋律と、軽やかな「馬のダンス」の旋律は、特徴の違いがはっきりしており、それぞれの旋律を聴き取りやすい。また、二つの旋律が交互に現れたり重なったりすることで変化をもたらし、楽曲の面白さに気付くやすく、楽曲の構造に気を付けて聴く能力を伸ばすことができる考える。

○ 児童観

本学年の児童を対象に、鑑賞領域における音楽を味わって聴く力についての調査(テスト, アンケート)を行った。事前アンケートでは、音楽を聴いて「その音楽の情景や様子を感じ取っている」と回答した児童は76.7%であったが、感じ取った情景や様子の理由を「音楽の中から見付けようとしている」と回答した児童は58.1%と低かった。事前テストにおいても、音楽を聴いて情景や様子を感じ取って記述している児童は90.7%であったが、その理由について、音楽を形づくっている要素とかかわらせて妥当に記述している児童は53.5%であった。アンケートの「授業で音楽を聴くとき、その音楽の特徴や演奏のよさを友達に伝えようとしていますか。」の項目では、肯定的回答をした児童は59.5%であった。

以上のことから、音楽を聴いて感受はできるものの、感受したことを、音楽を形づくっている要素と関わらせて言葉で表すことは難しいという実態が分かる。楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことの理由を、音楽の中から見付けて、自分の意見や感想をもつことに課題がある考える。

○ 指導観

児童観に示したことを踏まえて、本題材ではパフォーマンス課題を設定し、楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことが、音楽を形づくっている要素の特徴と関わっていることに気付かせることにより、楽曲の特徴や演奏のよさを理解させる。パフォーマンス課題は、題材を貫く課題として設定するとともに、小題材ごとに小課題を設定し、段階を踏んで知識やスキルの習得状況を把握し、指導に生かすことで、パフォーマンス課題の表現につなげることができる考える。また、感じ取ったことを表す方法として、小学校学習指導要領解説音楽編（平成20年）に示されている、言葉や体の動き、絵、造形、音などの音楽科の特性を考慮してパフォーマンス課題を設定する。

パフォーマンス課題によって表された児童の表現は、ルーブリックを作成して評価する。ルーブリック

を教師と児童が共有することで、児童に明確な目標をもたせ、自己の到達状況を客観的に把握させながら主体的に学習に取り組ませることを目指したい。

5 題材の目標

- 「ファランドール」, 「カノン 二長調」の曲想とその変化などの特徴を感じ取って聴く。
- 「ファランドール」, 「カノン 二長調」の音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取り、楽曲の構造を理解して聴く。
- 「カノン 二長調」の楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを、言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを理解する。

6 題材の評価規準

	音楽への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
学習活動における具体的評価規準	①「ファランドール」「カノン 二長調」の楽曲全体にわたる曲想とその変化などの特徴を感じ取って聴く学習に主体的に取り組もうとしている。 ②音楽を形づくっている要素の関わり合いによってつくられる楽曲の構造を理解して聴く学習に主体的に取り組もうとしている。 ③想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを理解して聴く学習に主体的に取り組もうとしている。	①楽曲全体にわたる曲想とその変化などの特徴を感じ取って聴いている。 ②旋律、音の重なり、反復、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽を形づくっている要素の関わり合いによってつくられる楽曲の構造を理解して聴いている。 ③曲想とその変化などの特徴や音楽を形づくっている要素の関わり合いから、想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを理解して聴いている。

7 指導と評価の計画（全6時間）

時	教材	◎ねらい ○学習内容 ・学習活動	評価の観点	
			評価規準	評価方法
第一時	「カノン 二長調」	◎楽曲を聴いたり演奏したりして、音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取る。		
		○「カノン 二長調」やパッヘルベルについての紹介を聞く。 ○「カノン 二長調」をリコーダーで演奏し、旋律の動きをつかむ。 ○オーケストラの演奏による「カノン 二長調」を全体を通して聴き、想像した情景や様子などを発表する。 ・感じ取った楽曲のよさや面白さを発表する。 ○楽曲全体にわたる曲想を感じ取りながら聴く。 ○パフォーマンス課題・ループリックを知る。	【関①】 「カノン 二長調」の楽曲全体にわたる曲想とその変化などの特徴を感じ取って聴く学習に主体的に取り組もうとしている。 【鑑①】 楽曲全体にわたる曲想とその変化などの特徴を感じ取って聴いている。	行動観察 発言内容
第二時	「ファランドール」	◎「ファランドール」を聴いて想像したことや感じ取ったことを、図形楽譜や体の動きで表すことを通して、楽曲の特徴や構造を理解する。		
		○「ファランドール」を聴く。 ・指揮をしながら聴かせ、二つの旋律（A、B）、音楽のまとまり、強弱を感じ取らせる。 ○楽曲の部分の特徴を確認する。 (1)：1～9小節「A」 (2)：10～16小節「Aのカノン」 (3)：17～100小節「Bの反復」 (4)：101～116小節「Aの転調」 (5)：117～174小節「Bの転調」 (6)：175小節～最後「ABが重なる」 ・(1)～(3)の体の動きをグループで作る。 ○「ファランドール」の(1)～(6)に区切った図形楽譜をバラバラに見せ、楽曲を聴きながら順番に並べ替えることにより、音楽を形づくっている要素と結び付けながら、楽曲の構造を理解して聴く。 ○パフォーマンス課題・ループリックを知る。	【関①】 「ファランドール」の楽曲全体にわたる曲想とその変化などの特徴を感じ取って聴く学習に主体的に取り組もうとしている。 【鑑②】 「ファランドール」の旋律、音の重なり、反復、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽を形づくっている要素の関わり合いによってつくられる楽曲の構造を理解して聴いている。	行動観察 発言内容 ワークシート

第三・四時	「カノン 二長調」	◎「カノン 二長調」を聴き、曲想とその変化などの特徴や要素のかかわり合い、想像したことや感じ取ったことについて、体の動きや図形楽譜で表すことを通して楽曲の特徴を理解する。 ○パフォーマンス課題及びルーブリックを確認する。 ○前時の学習を振り返り、「カノン 二長調」をリコーダーで演奏する。 ○「カノン 二長調」を聴いて想像したことや感じ取ったことを発表し合う。 ・指揮をしながら聴かせ、体の動きや図形楽譜につなげる。 (1): 1～4 小節「①グループ」 (2): 5～8 小節「①②のカノン」 (3): 9～16 小節「①②③のカノン」 (4): 17～20 小節「①の旋律の 軽やかな動き」 (5): 21～24 小節「①②の旋律の動き」 (6): 25 節～28 小節「②③の旋律の動き」 (7): 29 小節～最後「徐々に四分音符へ」 ・楽曲全体の構成を把握し、体の動きや図形楽譜を考える。(個人→グループ) ・部分を聴いたり全曲を通して聴いたりしながら、音楽の特徴が伝わるように動きを考える。 ○グループごとに発表し、気付いたことを話し合う。 ○出した動きや図形を確かめながら「カノン 二長調」を聴く。 ○“今日のカノン”を書き、発表し合う。 ○自己評価し、自分の到達状況を把握する。 【関②】 音楽を形づくっている要素の関わり合いによってつくられる楽曲の構造を理解して聴く学習に主体的に取り組もうとしている。 【鑑②】 「カノン 二長調」の旋律、音の重なり、反復、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽を形づくっている要素の関わり合いによってつくられる楽曲の構造を理解して聴いている。 【関③】 想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを理解して聴く学習に主体的に取り組もうとしている。 【鑑③】 曲想とその変化などの特徴や音楽を形づくっている要素の関わり合いから、想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを理解して聴いている。	行動観察 発言内容 ワークシート
第五時	「カノン 二長調」	◎「カノン 二長調」の楽曲全体を通して聴き、想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを理解する。 ○パフォーマンス課題及びルーブリックを確認する。 ○前時までの学習を振り返り、「カノン 二長調」をリコーダーで演奏する。 ・演奏するグループ、聴くグループに分かれて聴き合い、旋律の動き、音の重なり、変化について気付いたことを発表する。 【関③】 想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを理解して聴く学習に主体的に取り組もうとしている。	行動観察 発言内容 ワークシート

		○パフォーマンス課題について、これまでの学習をもとに、曲紹介をどのように構成するか考える。 ・ワークシートに自分の構成を考えて書き、グループで話し合う。 ○グループで、よさや面白さを伝えるための曲紹介を考え、練習する。 ○ペアやグループで発表し合い、“みんなに伝えたい！ぼくのわたしのカノン♪”が伝わっているかについて気付いたことやアドバイスを出し合う。 ○自己評価し、自分の到達状況を把握する。	【鑑③】 曲想とその変化などの特徴や音楽を形づくっている要素の関わり合いから、想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを理解して聴いている。	
第六時	「カノン 二長調」	◎「カノン 二長調」を聴いて想像したことや感じ取ったことを、音楽の中の理由とつなげて言葉で表すなどして、味わって聴く。		
		○前時までの学習を振り返り、「カノン 二長調」をリコーダーで演奏する。 ・演奏するグループ、聴くグループに分かれて聴き合い、旋律の動き、音の重なり、変化について気付いたことを発表する。 ○グループごとに曲紹介を発表する。 ・それぞれのグループへの紹介をきき、“みんなに伝えたい！ぼくのわたしのカノン♪”についてのコメントを書き、数名の児童が発表する。 ・自分たちの発表を振り返る。 ○それぞれの発表を振り返りながら、「カノン 二長調」の楽曲全体を通して聴く。	【関③】 想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを理解して聴く学習に主体的に取り組もうとしている。 【鑑③】 曲想とその変化などの特徴や音楽を形づくっている要素の関わり合いから、想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを理解して聴いている。	行動観察 発言内容 ワークシート

8 パフォーマンス課題及びルーブリック
(パフォーマンス課題)

呉市音楽鑑賞カンパニーから、キッズ音楽祭の来場を呼びかけるために、曲紹介CMのビデオつくって欲しいと依頼がありました。あなたは、音楽キッズ評論家のメンバーの一人として曲紹介をすることになります。幼稚園・保育所から小学生までが対象です。

音楽祭でメイン演奏されるパッヘルベルという人が作曲した「カノン 二長調」という曲について、曲紹介CMのビデオをつくり、曲に興味をもって音楽祭に来てもらうことができるようにしてください。

曲のよさや面白さを紹介するために、紹介方法をグループで選び、“ぼくのわたしのカノン♪”を入れて、曲紹介CMをつくってください。紹介方法は、図形や体の動き、演奏等から自由に選んでいいです。曲紹介には、音楽から聴き取った音楽のもとと、あなたが想像したことや感じ取ったことをかかわらせて表すようにしてください。

(ルーブリック)

	体の動き (第3時)	図形楽譜 (第4時)	曲紹介づくり (第5時)
3 ス ペ シ ヤ ル !	情景や様子、気持ちを体の動きで表し、複数の「音楽のもと」(旋律、音の重なり、反復、変化など)と関わらせて他者に伝えている。関わらせ方に妥当性がある。	情景や様子、気持ちを図形で表し、曲全体の変化を複数の「音楽のもと」(旋律、音の重なり、反復、変化など)と関わらせて他者に伝えている。また、関わらせ方に妥当性がある。	曲紹介CMにストーリーがあり、複数の「音楽のもと」と関わらせて、自分にとっての音楽の価値を見付け、他者に伝えている。また、関わらせ方に妥当性がある。
2 合 格	情景や様子、気持ちを体の動きで表し、「音楽のもと」(旋律、音の重なり、反復、変化など)と関わらせて他者に伝えている。関わらせ方に妥当性がある。	情景や様子、気持ちを図形で表し、「音楽のもと」と関わらせて他者に伝えている。また、かかわらせ方に妥当性がある。	曲紹介CMにストーリーがあり、「音楽のもと」と関わらせて、自分にとっての音楽の価値を見付け、他者に伝えている。また、関わらせ方に妥当性がある。
1 も う 少 し	想像したことや感じ取ったことを体の動きで表すことができていない。	想像したことや感じ取ったことを図形で表すことができていない。	「音楽のもと」と関わらせて、自分にとっての音楽の価値を見付けていない。

9 本時の展開

第3時

(1) 本時の目標

○「カノン 二長調」を聴き、曲想とその変化などの特徴や要素の関わり合い、想像したことや感じ取ったことについて、言葉や体の動きで表すことを通して楽曲の特徴を理解する。

(2) 準備物 児童：リコーダー、筆記用具、鑑賞ファイル

教師：掲示用資料、児童配付用資料、「カノン 二長調」音源、CDプレイヤー

(3) 学習展開

	学習活動	指導上の留意点 (○) (◆「努力を要する」状況と判断した 児童への指導の手立て)	評価規準 (評価方法)
導 入	1 パフォーマンス課題及びルーブリックを確認する。 2 「カノン 二長調」をリコーダーで演奏する。 3 本時のめあてを確認する。	○ルーブリックの内容を確認し、本時の見通しをもたせる。 ○前時に感じ取った楽曲の特徴を思い出させ、リコーダー演奏につなげる。	
	「カノン二長調」の曲想の変化を感じ取ろう。		
展 開	4 第1時に「カノン 二長調」を聴いて想像したことや感じ取ったことが、どの音楽を形づくっている要素と結びついているのかを聴き取り、楽曲の特徴をつかむ。 5 グループごとに楽曲に合う体の動きを考える。 ・部分を聴いたり全曲を通して聴いたりしながら、音楽の特徴が伝わるように動きを考える。 6 ペアのグループごとに発表し、気付いたことを話し合う。 ・楽曲の特徴を理解する。 7 本時の“ぼくの・わたしのカノン♪”を記入する。	○第1時で記入させた、児童数名の意見を準備しておき、それらの意見が、楽曲のどの部分で感じ取ったことなのか、確かめながら聴かせる。 ○自分たちでつくった体の動きが、要素とどのように関わっているか考えさせる。 ◆一つの要素に着目させ、どのような感じを体の動きで表したいか丁寧に引き出す。 ○“感じ取ったこと”と“聴き取ったこと”を構造的に板書することにより、一人一人が感じる曲のよさや面白さが音楽のもととかかわっていることに気付かせる。 ○本時の学習を生かして、想像したことや感じ取ったことを表す活動について、理由と関わらせながら書かせる。	【関②】 音楽を形づくっている要素の関わり合いによってつくられる楽曲の構造を理解して聴く学習に主体的に取り組もうとしている。 (発言、行動観察) 【鑑②】 「カノン 二長調」の旋律、音の重なり、反復、変化音を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取っている。 (ワークシート)
ま と め	8 本時のまとめをする。 ・ルーブリックによる振り返りをする。	音楽を体の動きで表すと、旋律や音の重なり、反復、変化の音楽のもとと想像したことや感じ取ったこととのかわりがよくわかる。	

第4時

(1) 本時の目標

○「カノン 二長調」を聴き、曲想とその変化などの特徴や要素の関わり合い、想像したことや感じ取ったことについて、言葉や図形楽譜で表すことを通して楽曲の特徴を理解する。

(2) 準備物 児童：リコーダー、筆記用具、鑑賞ファイル

教師：掲示用資料、児童配付用資料、「カノン 二長調」音源、CDプレイヤー、色画用紙

(3) 学習展開

	学習活動	指導上の留意点 (○) (◆「努力を要する」状況と判断した 児童への指導の手立て)	評価規準 (評価方法)
導 入	1 パフォーマンス課題及びルーブリックを確認する。 2 前時の学習を振り返り、リコーダーで「カノン 二長調」を演奏する。 3 本時のめあてを確認する。	○ルーブリックの内容を確認し、本時の見通しをもたせる。 ○前時に感じ取った楽曲の特徴を確かめ、リコーダー奏につなげるようにする。	
	「カノン二長調」の曲想の変化を感じ取ろう。		
展 開	4 グループごとに図形楽譜を考える。 ・部分を聴いたり全曲を通して聴いたりしながら、音楽の特徴が伝わるように動きを考える。	○最初は一人で考える時間を確保する。 ◆一つの要素に着目させ、どのような感じを図形楽譜で表したいか丁寧に引き出す。	【関③】 想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを理解して聴く学習に主体的に取り組もうとしている。 (発言、行動観察)
	5 ペアのグループごとに発表し、気付いたことを話し合う。 ・楽曲の特徴を理解する。 6 “ぼくのわたしのカノン”を書き、発表し合う。	○自分たちでつくった図形楽譜の理由が、音楽を形づくっている要素とどのように関わっているか考えさせながらつくらせる。 ○本時の学習を生かして、想像したことや感じ取ったことを表す活動について、理由と関わらせながら書かせる。	【鑑③】 曲想とその変化などの特徴や音楽を形づくっている要素の関わり合いから、想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを理解して聴いている。 (行動観察、ワークシート)
ま と め	7 本時のまとめをする。 ・ルーブリックによる振り返りをする。	音楽を図形楽譜で表すと、旋律や音の重なり、反復、変化の音楽のもとと想像したことや感じ取ったこととの関わりがよくわかる。	

第5時

(1) 本時の目標

○「カノン 二長調」の楽曲全体を通して聴き、想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを理解する。

(2) 準備物 児童：リコーダー、筆記用具、鑑賞ファイル

教師：掲示用資料、児童配付用資料、「カノン 二長調」音源、CDプレイヤー

(3) 学習展開

	学習活動	指導上の留意点 (○)	評価規準 (評価方法)
導入	1 パフォーマンス課題及びルーブリックを確認する。	○ルーブリックに基づいた自己評価を振り返らせ、本時のねらいを意識させる。	
	2 前時の学習を振り返り、リコーダーで「カノン 二長調」を演奏する。 3 本時のめあてを確認する。	○互いの旋律を聴き合いながら演奏するように声をかけ、曲想を味わわせる。	
	「カノン二長調」の曲紹介をつくり、曲のよさや面白さを伝えよう。		
展開	4 パフォーマンス課題について、これまでの学習をもとに、曲紹介をどのように構成するか考える。 ・ワークシートに自分の考えをまとめた後、グループで話し合う。	○「カノン 二長調」のよさや面白さを伝えるために、どのような構成にするか考える。 ○最初は一人で考える時間を確保し、その後全体で発表させる。 ○お互いの意見を尊重しながら決めさせる。 ○体の動きや図形楽譜、演奏など組み合わせを工夫して構成を考えさせる。	【関③】 想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを理解して聴く学習に主体的に取り組もうとしている。 (発言、行動観察)
	5 グループで考えたことをもとに練習する。	○どの表現も実際に試してみることでそれによって修正を加えてもよいことを伝える。	【鑑③】 曲想とその変化などの特徴や音楽を形づくっている要素の関わり合いから、想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを理解して聴いている。
	6 ペアのグループで発表し合い、気付いたことを話し合う。	○曲紹介CMの表現が、音楽を形づくっている要素とどのように関わっているかについて意見を出し合うように助言する。	(ワークシート)
	7 自分たちの考えた曲紹介CMを楽曲を聴きながら確かめる。		
まとめ	8 本時のまとめをする。 ・ルーブリックによる振り返りをする。	曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉などで伝えることで、曲について理解することができ、自分にとっての「カノン二長調」のよさをもつことができる。	

♪曲紹介CM 構成シート♪～キッズ音楽祭を成功させよう～

5年 組

グループ

こんにちは！今度の夏休みに キッズ音楽祭が行われます。
みんなが来てくれるように、和庄小学校の5年生が「カノン 二長調」を紹介するよ！

♪「カノン 二長調」 ヨハン・パッヘルベル作曲



みんなに伝えたい！ぼくのわたしのカノン♪

この曲は

なところがすてきだよ。

それは

(理由が音楽にある) からだよ。

CMを見て…

えっ?!何?!

この演奏は何だろう?この動きは?この歌声は?

まあ~!?

見るとこんな形?何だかきれいな動き!

ふ~ん!

すてきな図形の音楽なんだねえ!ステキな演奏!

キッズ音楽祭に行ってみよ~っと!

紹介方法:

紹介方法:

紹介方法:

みなさん、いかがでしたか?キッズ音楽祭に来てね!

音楽のもと

CMで使う方法を話し合しましょう。(いくつかを組み合わせてもいいです。)

紹介方法その①: 体の動き () 紹介方法その②: 図形楽譜 () 紹介方法その③: 演奏 () その他: ()

